

防災重点ため池のハザードマップの公表について

農村整備課

1 作成のあらまし

東日本大震災により、ため池が決壊し、甚大な被害が発生したことから、農林水産省では、ため池が決壊することによる被害の軽減を図ることを目的とした、ため池ハザードマップの作成を推進しております。

平成30年度末で、市内の農業用ため池91箇所のうち、防災重点ため池として位置づけている34箇所のため池について、ハザードマップが完成したことから、前橋市のホームページ等で公表します。

2 ため池ハザードマップの概要

(1) 規格

・ため池ハザードマップ・・・A3版カラー

(2) 浸水想定区域図及び防災対策情報の内容

ため池が最大の規模で決壊することを想定した解析を実施し、浸水想定区域を作成しており、区域が把握しやすいように、縮尺はため池ごとに変えています。

浸水深さによる色分けを行い、ため池の決壊後の到達時間、決壊時の避難方向、緊急避難所や緊急連絡先を表示するとともに、避難時の心得等を表示しています。

なお、浸水が想定される自治会に対しては、説明済みであり、表示内容については了承を得ております。

3 公表方法

- ・令和元年6月中に市ホームページへ掲載予定
- ・該当地区住民へ配布予定
- ・防災危機管理課、各支所・市民サービスセンターへ配布予定
- ・『さーちずまえばし（前橋市地図情報システム）』、農林水産省のため池ハザードマップポータルサイトへの掲載予定

4 その他

平成30年度に、防災重点ため池の基準が見直され、55箇所のため池が防災重点ため池になりましたので、引き続き、ハザードマップの作成を行い、順次、ホームページ等での公表を予定しています。